
終戦の詩

国後旺

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終戦の詩

【著者名】

Z8601E

【作者名】

国後庄

【あらすじ】

終戦記念日と「終戦」と、詩を創りました。

待ち人

あなたが また ここに来てくれる 信じてるから
ずっと ここにいなきゃと 思つたのよ
だって 今までずっと一緒にいたから

だけど 空襲が鳴る

ソレを聞くたび あなたが遠くに行く 気がしたの
“行かないで”と 言つていたのに
あなたはドコか遠くへ 行ってしまったの

笑つて見送るなんてことは

私にはとても できやしない

あなたが

「帰つてくるよ」と言つても

涙を拭い切れない

あなたが また ここに来てくれる 信じたから
ずっと ここにいなきゃと 思つたのよ
だって 今までずっと一緒にいたから

だから 夢を見たの

あなたの夢 あなたは笑いながら

泣いてたの

“泣かないで”と

言つてくれたけど

あなたが泣くなんて……

笑つて見送るなんてことは

私にはとても できやしない

あなたが

「帰つてくるよ」と言つても

涙を拭い切れない

もう ずうつと

あなたの顔を 見てないけど

あなたが ここ（心）から離れたことは

一度だつてないからね

いつでも 帰つて来て

（黒い雨が カラダを溶かして
家を風が 燃やし飛ばしてゆき
影が影を 重ね潰して
ここは壊れ 光をはじき
すべてを壊し 痛みすらも壊して
受ける人も 与える人さえも
骨を抱えて埋まつていく

見つけることやえ 無くしてしまつ
あなたは帰つて来てくれたけれど
帰る場所は溶けてしまつたの（）

だから 泣ぐのをやめて
あなた忘れて ここに私は もう いないから
“抱きしめる”と書いてくれたけど
私はドコか遠くへ 行つてしまつたの

笑つて見送るなんてことは
私にはとても できやしない
あなたが涙を流していくても
私は拭い切れない

冷えた 空の下
突き刺さる 風を待ちゆく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8601e/>

終戦の詩

2011年10月4日14時17分発行